

**第52回春季全国大会愛知県中央支部予選兼
第3回日本少年野球
ミズノ旗争奪大会**



(公財)日本少年野球連盟

期 間

令和3年11月20日(土)・21日(日)・27日(土)
予28日(日)

会 場

愛工大名電高校G、鶴弥阿久比工場G、
岡崎龍北総合運動場、同朋高校G、星城高校G
豊田総合運動公園野球場

**主 共 協 後
催 催 賛 援**

(公財)日本少年野球連盟愛知県中央支部
ミズノ株式会社中部支社
愛知銀行
BSO株式会社
(公財)日本少年野球連盟



公益財団法人 日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

愛知県中央支部

野 球 を し な が ら
団 結 ・ 友 愛 ・ 規 律 ・ 勇 気 ・ 忍 耐
を 身 に つ け よ う

(公財) 日本少年野球連盟規約 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に

正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と

スポーツマンシップを理解させることに努め、

規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、

もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣田 敏和

[本部] 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号
南海日本橋ビル2階

TEL (06) 6649-0061

野球をやるならボーイズリーグ

第 53 回 春 季 全 国 大 会 予 選 兼 第 3 回 ミズノ 旗 争 奪 大 会

		本部		【グラウンド担当】
1 日 目	2021年11月20日(土)	A 球場	◎ 愛工大名電高校グラウンド	愛知名港ボーイズ
		B 球場	鶴弥阿久比工場グラウンド	名古屋中央ボーイズ
		C 球場	岡崎龍北総合運動場	東海中央ボーイズ
2 日 目	2021年11月21日(日)	D 球場	◎ 同朋高校グラウンド	愛知名港ボーイズ
		E 球場	星城高校グラウンド	東海中央ボーイズ
3 日 目	2021年11月27日(土)	F 球場	◎ 豊田総合運動公園野球場	愛知名港ボーイズ
予 備 日	2021年11月28日(日)	G 球場	◎ 岩村総合グラウンド	愛知名港ボーイズ

中学生の部

1日目

2日目

3日目

1	愛 知 名 港 ボ ー イ ズ			
2	名 古 屋 ボ ー イ ズ	A-1 9:00	D-1 10:00	
3	東 名 古 屋 ボ ー イ ズ			F-1 9:00
4	豊 田 ボ ー イ ズ	A-2 11:30		
5	東 海 ボ ー イ ズ		D-2 12:30	
6	名 古 屋 緑 ボ ー イ ズ	B-1 9:00		
7	愛 知 刈 谷 ボ ー イ ズ			F-3 14:00
8	愛 知 安 城 ボ ー イ ズ	A-3 14:00		
9	愛 知 港 ボ ー イ ズ		E-1 9:00	
10	中 京 ボ ー イ ズ	B-2 12:30		F-2 11:30
11	名 古 屋 中 央 ボ ー イ ズ			
12	愛 知 知 立 ボ ー イ ズ	C-1 9:00		
13	愛 知 知 多 ボ ー イ ズ		E-2 13:00	
14	三 好 東 郷 ボ ー イ ズ	C-2 13:00		
15	東 海 中 央 ボ ー イ ズ			

第3回日本少年野球ミズノ旗争奪大会役員名簿

《大会会長》

愛知県中央支部支部長 田 畑 良 一

《大会副会長》

ミズノ株式会社中部支社 濱 田 天 聖
支 社 長

ミズノ株式会社
ダイヤモンドスポーツ事業部 服 部 弘 敏

愛知県中央支部支部長代行 山 口 護

《大会運営委員長》

中央支部企画運営部長 東 亜 行

《大会運営副委員長》

中央支部行事委員長 松 尾 勝

中央支部行事副委員長 三 河 一 輝

中央支部企画運営副部長 多 和 田 健 次

《大会運営委員》

愛知安城ボーイズ代表 西 脇 利 幸

愛知セントレアガールズ代表 阿 部 充 則

愛知知多ボーイズ代表 濱 野 晃 一

愛知知立ボーイズ代表 土 屋 尚 史

愛知東郷ボーイズ代表 黒 沢 淳

愛知名港ボーイズ代表 友 田 淳 雄

愛知港ボーイズ代表 小 河 徳 和

中京ボーイズ代表 森 義 弘

名古屋ボーイズ代表 田 中 秀 明

名古屋中央ボーイズ代表 樋 田 善 光

名古屋緑ボーイズ代表 坂 野 晃 嗣

東名古屋ボーイズ代表 千 田 知 弘

三好東郷ボーイズ代表 鳥 居 剛

《大会顧問》

日本少年野球連盟会長 惣 田 敏 和

日本少年野球連盟副会長 堀 内 健

日本少年野球連盟 松 本 行 弘

中日本ブロック長

日本少年野球連盟担当理事 伊 藤 裕 章

《大会参与》

愛知県中央支部相談役 深 谷 博 之

《大会総務部長》

愛知県中央支部総務部長 松 尾 勝

《大会事務局長》

愛知県中央支部事務局長 三 河 一 輝

《大会副事務局長》

愛知県中央支部副事務局長 石 川 博 章

《大会広報委員長》

愛知県中央支部広報委員長 石 川 博 章

《大会会計部長》

愛知県中央支部会計部長 加 藤 剛 司

《大会会計副部長》

愛知県中央支部会計副部長 鈴 木 直 実

《大会審査指導部長》

愛知県中央支部審査指導部長 丸 山 晋 弘

《大会審査指導副部長》

愛知県中央支部審査指導副部長 一

《大会審判長》

愛知県中央支部審判長 鶴 見 淳

《大会副審判長》

愛知県中央支部副審判長 高 岡 晋

北 山 肇

中 野 英 志

《大会審判員》

支部審判員諸氏

大会規定

- 1・チームの登録選手は 11 名以上 25 名以内（ベンチ入りは 20 名以内）とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は当年度発行のものとする。
- 4・登録選手および登録されたチーム責任者(代表またはそれに代わる責任ある者でチーム責任者証を携帯している者)、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)及び審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチには入れないが、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、その時点で審査のうえベンチ入りできる。
また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、ベンチ入りを認める。
- 5・チーム責任者が不在の場合は試合ができない。
- 6・組み合わせの若番号が 1 塁側のベンチ、後番号が 3 塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 7・監督(背番号 60)、コーチ(背番号 50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 8・試合開始時刻 60 分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を 5 部、投球回数記録副表 3 部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
- 9・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 10・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 11・試合方法など
 - (1) 各試合は 7 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から 2 時間（決勝戦は 2 時間 20 分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2) 4 回終了時 10 点差、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 7 回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長 8 回(決勝戦は 10 回)あるいは試合開始から 2 時間(決勝戦は 2 時間 20 分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 12・(1) 投手は、1 日最大 80 球とし、連続する 2 日間で 120 球以内とする。
連続する 2 日間で 80 球を超えた場合、3 日目は投球を禁止する
(2) 3 連投（連続する 3 日間）する場合は 1 日の投球数を 40 球以内とし、4 連投（連続する 4 日間）は禁止とする。なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない。
ダブルヘッダーの場合で 2 試合に登板した場合は連続 2 日間投球したこととする。
また、1 試合のみ投球した場合は 1 日の投球とする。
※詳細は別紙投球数制限資料参照。
また移行期間のため、資料に掲載されていない事象が発生した場合は、支部内にて判断とする。
- 13・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は 1 試合で攻撃 2 回と守備 2 回の計 4 回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで 1 回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
(2) 守備側の投手に対する指示、伝達が 3 回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
(3) 内野手が 2 人以上投手のところに行った時も 1 回に数える。
(4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30 秒以内」とする。
- 14・1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が 2 回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 15・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。

- 16・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 17・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 18・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 19・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 20・各チームは同色のヘルメット 7 個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2 組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26・試合前のシートノックは原則として 5 分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

参考

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイプブレーク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 延長 8 回あるいは試合開始から 2 時間を超えて (いずれか早い方) 決勝戦は 10 回あるいは 2 時間 20 分を超えて (いずれか早い方)、両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
 - (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
 - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
- (二) この場合の代打および走者は認められる。

【 AED (自動体外式除細動器) 所持の確認 】

- ・選手審査時にチームは AED を所持しているか確認すること。

注意) AED には有効期限があります。AED 所持チームは、その有効期限に留意して常に作動できる状態にあるか確認して下さい。

大会開催運営に関するガイドライン（新型コロナウイルス感染拡大防止対策）

連盟主催大会、地区大会及び練習試合を行うにあたり以下の事項、対策を講じる事を運営の基本とし、連盟通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。

尚 大会運営役員、審判、参加チームスタッフ、選手、保護者の全ての者に於いて 当日の検温（37.5 度以下）並び体調に異常が無いか確認をし各自出来る限り 2 m以上の距離を取りマスクを着用し密集しないようにする。

1. 大会開会式、閉会式を禁止とする。

表彰式は最低限の人数、時間で簡素に行う。

2. (1) 大会運営方法

・運営（球場）責任者、及び運営役員 3名

放送 1～2名 記録 1名 グランド整備等運営補助者 5名程度

室内本部は必要最低限の者とし、屋外（スタンド）とする。

・試合間隔は試合時間含め 3 時間を取り 密にならないよう運営する。

・試合ベンチはグラウンド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い 密度が高くないように設営する。

・チーム到着時、帰途時の挨拶は「無し」とし メンバー表等の提出のみとする。

・試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし 代表のみが立ち会う。

また試合前のメンバー表交換の集合は 球場責任者、審判、監督、主将で行う。

・接待は「無し」とし 飲料（個別ペットボトル）、弁当等は 1ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。

・本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。

・試合会場入りは 1 時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。

*大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。

(2) 試合に関して

・打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。

・指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さず行う、またメガホンは禁止とする

・試合開始、終了の挨拶は声を出さず 礼のみで行う。

・捕手は防具を自ら着用し 補助者を使わない。

・審判はマスク着用し 判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。

*マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為 時間を取るなど配慮が必要です。

(3) 参加チームについて

・会場入りするチーム構成はベンチ入りの代表、監督、コーチ、マネージャー、選手 20（25）名以内及び保護者の応援はマスク着用し観客席にて 2 m以上の間隔を取り、声を出さず見学のみとする。

・チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。またチーム役員、監督等の接待も禁止とする。

・昼食を取る場合 対面にならないよう 2 m以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。

・大会会場へは 1 時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。

・選手移動については全ての車両に於いて こまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。

・宿泊に於いては一人一部屋、室内でのミーティングをしない。食事の時は対面。密集にならないよう会話は控え速やかに食事をする。

*大会（試合）に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。

以上が大会のガイドラインであります但し感染のリスクがゼロではありません。

各チーム参加選手、保護者にはよく説明を行い同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。またチームからの強制参加及び活動は禁止致します。

尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は大会及び試合を打ち切ることがあります。

以上

愛知名港ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	友田 淳雄 奥村 尚 杉本 貴由之 奥村 治			
背番号	氏 名			学年
主将	21	森 都季	矢	2年
	1	山 内康	生	2年
	2	野 上士	耀	2年
	4	八 田 柊	司	2年
	6	前 田 蓮		2年
	7	宇 井 漣	丸	2年
	11	北 村 理	駈	2年
	14	澤 田 汰	輝	2年
	18	畠 下 龍	空	2年
	24	杉 本 龍之介		2年
	25	山 森 楓	雅	2年
	31	木 村 優	太	2年
	32	辻 丸 佑	樹	2年
	33	中 村 銀	仁	2年
	34	高 橋 龍	世	2年
	35	小 川 隼之介		2年
	44	川 尻 結	大	2年
	45	後 藤 駿	平	1年
	51	川 島 啓	瑚	2年
	55	柳 本 怜	大	2年
	56	佐 伯 宙	星	2年
	57	宮 田 匠		2年
	63	鈴 木 大	輝	2年
	66	野々垣 敦	貴	2年
	81	長 岡 拓	海	1年

名古屋ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	田中 秀明 水谷 孝 中村 大助 杉野 保憲			
背番号	氏 名			学年
主将	0	杉野 琥太郎		2年
	1	平 山 大勢		2年
	3	富 田 将太		1年
	5	青 山 侑生		2年
	8	廣 瀬 煌大		2年
	9	加 藤 聖士		2年
	10	加 藤 勝喜		2年
	11	茅 野 蒼汰		1年
	12	大 西 望翔		1年
	15	吉 田 優翔		2年
	17	福 中 葉月		2年
	19	伊 藤 承太郎		1年
	20	留 場 琉生		1年
	21	青 沼 滉大		2年
	25	三 谷 悠真		2年
	26	工 藤 夢生		1年
	27	後 藤 浩介		1年
	31	竹 内 偉風		1年
	33	伊 藤 誠太		1年
	41	辻 匡 仁		1年
	52	國 井 彬義		1年
	55	伊 藤 滉		1年
	56	二 村 輝太郎		2年
	88	渡 邊 優太		2年
	99	飯 田 琉聖		2年

東名古屋ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	千田 知弘 伊藤 泰憲 竹内 将平 濱崎 美嘉			
背番号	氏 名			学年
主将	0	竹 内 雄惺		2年
	1	櫻 井 祐人		1年
	2	櫻 井 太智		1年
	3	小 林 暖舞		1年
	5	立 田 熙直		1年
	6	鈴 木 崇史		1年
	7	松 永 透和		2年
	8	丸 山 陽平		1年
	9	久 野 直翔		1年
	16	三 浦 琥珀		1年
	17	栗 田 翔空		1年
	18	櫻 井 航介		1年
	19	磯 村 怜穩		1年
	20	西 田 勝		1年
	21	松 尾 碧馬		1年
	22	小 山 陽平		1年
	23	小 永 田 優		1年
	25	神 藤 将瑛		1年
	29	神 大 島 步真		1年
	31	大 管 谷 匠悟		1年
	55	中 西 望遥		2年
	58	大 内 洸弥		1年
	77	池 端 真叶		1年

豊田ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	多和田 健次 釜田 尚毅 鈴木 陽祐 野村 寿道			
背番号	氏 名			学年
主将	25	勝 田 悠斗		2年
	0	村 田 久遠		2年
	1	高 洲 凌央		2年
	3	長 屋 快青		1年
	4	加 藤 絢己		1年
	5	紺 野 凌也		2年
	6	池 田 有我		1年
	7	辻 竜 之介		1年
	8	大 山 愛斗		1年
	10	清 田 凌平		2年
	12	正 垣 馨一		2年
	13	野 村 應太		2年
	15	鈴 木 胡太朗		2年
	16	杉 浦 颯真		2年
	19	加 藤 翔垂		2年
	20	上 田 陽生		1年
	22	内 山 元晴		2年
	23	木 曾 耀太		1年
	26	横 澤 琢巳		2年
	27	松 嶋 哉汰		2年
	28	白 柿 武琉		1年
	34	吉 弘 泰成		1年
	37	山 田 凱斗		1年
	51	河 野 陽太		1年
	99	今 井 大斗		2年

東 海 ポ ー イ ズ

代表 監督 コーチ マネージャー		丸 山 晋 弘 中 野 邦 英 山 崎 栄 治 岡 本 政 幸	
背番号	氏 名	学年	
主将	2 岡 本 力 哉	2年	
	1 川 瀬 陽 翔	2年	
	3 浦 川 翔 夢	1年	
	5 武 田 義 弘	2年	
	7 山 崎 翔 太	2年	
	8 水 野 創 太	2年	
	10 長 谷 川 彪 河	1年	
	11 淵 上 麗 音	2年	
	13 竹 内 勝 翔	1年	
	18 井 利 元 涼	1年	
	21 吉 川 結 斗	1年	
	22 高 橋 侑 雅	1年	
	23 門 井 亮 馬	1年	
	26 岡 田 隆 雅	1年	
	27 犬 飼 凱 也	1年	
	31 浦 野 敦 也	1年	
	41 渡 辺 一 誓	1年	
	47 石 本 侃 大	1年	
	48 杉 山 由 真	2年	
	63 濱 本 凜 太 郎	1年	
	88 大 林 青 葉	1年	
	89 柴 山 虎 太 朗	1年	

名 古 屋 緑 ポ ー イ ズ

代表 監督 コーチ マネージャー		坂 野 晃 嗣 内 藤 清 貴 田 中 恵 次 朗 伊 波 秀 一	
背番号	氏 名	学年	
主将	54 松 田 昂 士	2年	
	0 山 田 善 斗	1年	
	1 清 水 聡 太	2年	
	2 斉 田 圭 亮	2年	
	3 安 藤 誠 平	2年	
	5 間 野 舜 平	2年	
	8 塚 崎 亮 羽	2年	
	14 今 野 真 大 星	2年	
	16 池 村 一 悠 利	2年	
	17 澤 田 悠 脩	2年	
	20 百 合 草 太 郎	2年	
	22 櫻 井 倅 樹	2年	
	28 相 川 幸 惺	1年	
	29 古 川 太 勝 弥	2年	
	32 吉 川 勝 颯 真	2年	
	46 渡 邊 主 祐 空	1年	
	51 橋 藤 凜 晴 也	2年	
	55 佐 伊 波 太 陽	2年	
	57 伊 釜 谷 悠 義	2年	
	58 釜 狩 野 悠 真	2年	
	63 狩 鏡 味 内 閃	2年	
	70 鏡 竹 心 誠	1年	
	88 竹 水 野 心	1年	
	99 水 野 心	1年	

愛 知 刈 谷 ポ ー イ ズ

代表 監督 コーチ マネージャー		鈴木 直実 西川 浩司 村瀬 雅士 梶野 浩司	
背番号	氏 名	学年	
主将	35 木村 瑛汰	2年	
	30 猪塚 棕	2年	
	32 斉藤 暖	2年	
	33 前原 一温	2年	
	34 東條 匠真	2年	
	36 井上 翔太郎	2年	
	38 成田 悠生	2年	
	39 徳永 詠介	2年	
	41 小川 竜 駕	2年	
	43 福田 悠斗	2年	
	44 北原 将吾	2年	
	46 蟹江 大雅	2年	
	47 稻吉 悠羽	2年	
	48 森 大輔	2年	
	51 岡田 麗翔	2年	
	52 杉本 蒼太郎	2年	
	53 久保 慧心	2年	
	54 長坂 葉智	2年	
	55 青木 駿乃介	2年	
	56 本間 大胡郎	2年	
	8 鍛治 直幸	1年	
	11 長谷川 大智	1年	
	12 岩出 賢明	1年	
	19 林 銀之助	1年	
	25 池田 篤紀	1年	

愛 知 安 城 ポ ー イ ズ

代表 監督 コーチ マネージャー		西 脇 利 幸 西 脇 侑 吾 西 川 正 晃 橋 本 匡 史	
背番号	氏 名	学年	
主将	6 中 山 達 椰	2年	
	2 外 山 成 竜	2年	
	4 石 川 稜 馬	2年	
	7 千 葉 心 楽	2年	
	8 小 野 里 葵	1年	
	10 鈴 木 夢 人	2年	
	12 由 良 蒼 葉	1年	
	15 石 川 凜 明	1年	
	18 鈴 木 煌 人	2年	
	22 土 谷 琉 斗	2年	
	23 中 井 惺 乎	2年	
	24 出 口 達 也	2年	
	29 出 口 智 也	1年	
	32 三 丸 慶 太 郎	2年	
	33 椎 野 弘 基	2年	
	46 鍋 内 比 呂	2年	
	51 竹 田 新	1年	

愛知港ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー		小河 徳和 堀田 将司 大須賀 辰郎 泉 名翔太郎	
背番号		氏名	学年
主将	26	金本 誠史	2年
	0	清水 彪雅	2年
	1	山本 夢大	2年
	5	関之尾 悠太	1年
	11	大須賀 琉季	1年
	14	山賀 祐樹	2年
	15	水野 歓汰	2年
	16	西岡 依丸	2年
	18	伊藤 璃空	2年
	19	平田 庸之助	2年
	21	中井 柊温	2年
	23	早川 諒	2年
	24	池田 堂来	2年
	25	平田 琉太郎	2年
	27	谷口 大和	2年
	28	武智 遥士	2年
	29	朝夷名 敏	2年
	31	佐藤 響	2年
	56	早坂 玲音	2年
	63	小椋 秀惺	2年

中京ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー		森 義弘 福 長博幸 大 矢康弘 古 川秀和	
背番号		氏名	学年
主将	12	星 野 匡 慶	2年
	1	富 田 悠 月	2年
	3	古 川 快 人	2年
	6	平 原 矢 眞 人	2年
	13	池 田 怜 央	2年
	14	山 田 雄 治 郎	2年
	16	川 口 賢 人	2年
	17	伊 藤 智 弘	2年
	19	伊 藤 一 樹	2年
	21	中 山 陽 太 夏	1年
	23	山 本 翔 太	2年
	25	村 田 濤 始	2年
	27	野 田 凜	2年
	30	加 藤 竜 稀	2年
	37	不 破 久 凱	2年
	54	桂 晃 紫	1年
	86	中 西 晴 琉	2年
	87	中 村 楓 花	2年

名古屋中央ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー		樋 田 善 光 角 将 人 木 下 篤 史 梅 田 朋 幸	
背番号		氏名	学年
主将	89	朴 慶 太	2年
	24	久 永 聖 光	2年
	26	多 賀 大 和	2年
	32	神 農 雄 大	2年
	36	加 世 田 煌 大	2年
	37	宮 崎 海 斗	2年
	42	木 下 遥 琉	2年
	44	奥 村 凌 太	2年
	52	吉 田 泉 希	2年
	53	伊 藤 貴 信	2年
	58	木 庭 夏 輝	2年
	61	本 田 大 翔	2年
	63	大 鐘 希 希	2年
	66	大 宮 和 輝	2年
	70	中 川 壮 亮	2年
	77	梅 田 亜 里	2年
	99	秦 傑	2年

愛知知立ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー		土 屋 尚 史 西 川 弘 樹 近 藤 秀 和	
背番号		氏名	学年
主将	11	近 藤 慎 之 介	2年
	0	長 谷 徠 斗	2年
	2	神 谷 樹	2年
	4	前 田 明 徳	2年
	5	加 藤 心 汰	1年
	7	矢 田 都 恭	2年
	8	小 川 竜 也	1年
	9	岡 本 爽 汰	2年
	10	稲 垣 光 晟	2年
	15	鈴 木 蓮 生	2年
	16	宮 本 絆	2年
	18	椿 幸 之 助	2年
	21	出 口 慧 真	1年
	22	古 田 章 貴	1年
	24	伊 藤 空 和	1年
	33	山 内 瑛 太	2年
	36	林 田 拓 己	2年
	53	熊 野 陽 太	2年
	55	杉 山 丈 虎	2年
	66	正 木 遥 音	2年

愛知知多ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	濱野晃一 尾形嘉崇 堺和弘 小田竜司	
背番号	氏名	学年
主将	3 都築 琉晟	2年
	0 加藤 功大	2年
	1 小田 修帆	2年
	2 古屋 幸真	2年
	4 吉田 真裕	2年
	5 鈴木 琥輝	2年
	7 佐伯 大	2年
	8 谷口 裕太郎	2年
	10 宮本 祐	2年
	11 石橋 理功	2年
	17 吉良 天真	2年
	18 西川 翔惺	2年
	19 大村 健太	2年
	23 鈴木 翔也	2年
	27 藤田 琉輝	2年
	30 下田 健太	2年
	31 三浦 颯太	2年
	39 山口 哲平	2年
	44 間瀬 寛都	2年
	51 戸谷 駿利	2年
	56 重松 寿翔	2年
	99 塚本 絆斗	2年

三好東郷ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	鳥居剛 安達豪也 伊藤貴生 伊東博	
背番号	氏名	学年
主将	16 大嶋元晴	2年
	2 大宗像蒼真	1年
	5 辰ノ碧海	2年
	6 村田涼	2年
	8 鈴木海人	2年
	10 永田翔斗	2年
	11 谷川源之助	2年
	12 石川天琉	2年
	14 仲野聖凜	2年
	15 金子瑛士	2年
	19 手島大翔	1年
	20 永田瑛斗	1年
	21 片岡蒼太	2年
	25 篠村勇輝	2年
	31 塚田大次朗	1年
	33 岩田朔弥	2年
	56 高島倖佑	2年
	94 斉藤朋星	2年
95 稲川夏暉	1年	
99 佐野和暉	2年	

東海中央ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	松尾勝二 竹脇賢二 阪野治 鈴木村友宏	
背番号	氏名	学年
主将	4 井戸 一斗	2年
	1 加藤 龍之介	2年
	5 染 輝 暁	2年
	6 福 田 昂 樹	2年
	8 近 藤 慶 次 朗	2年
	10 岡 部 純 陽	2年
	11 荻 田 翔 惺	1年
	14 井手 尾 哲 兵	2年
	15 船 橋 幸 多	2年
	16 鈴 村 湊	2年
	17 藺 田 和 也	2年
	18 松 村 太 誠	2年
	20 浅 井 太 介	2年
	21 川 崎 迅 翔	2年
	22 塚 本 翔 仁	2年
	24 河 野 杜 空	2年
	25 石 野 濤	2年
	31 神 谷 奎 吾	2年
	41 小 樋 大 遥	2年
	43 南 原 隆 之 介	2年
	47 三 岡 亮 太	2年
	51 上 杉 祐 太 郎	2年
	55 荒 川 拓 海	2年
	56 村 上 颯	2年
	77 平 野 亜 稀 斗	2年

【 投球数制限について 】

- ・ 2021年度は周知期間とする
- ・ 2022年度よりすべての構成団体において完全適用とする

1. 中学生（レギュラーの部）

1) レギュラーの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする
連続する2日間で80球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし、
4連投（連続する4日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球したこととする
また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする
- ③ 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
3連投させたい場合の1日目及び2日目（ダブルヘッダーの場合は1試合目）の40球以上はカウントされる
- ⑤ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする
- ⑨ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮すること

2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日70球以内、週350球以内とする
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	第 六 日 目	備 考
投手 A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手 B	80	40	休	80	0	80	第1日目80球、第2日目40球で連続する2日間で120球となったため、第3日目は 投手・捕手として出場できない。(また、2日間で80球を超えているので第3日目は 捕手として出場できない規定もある。投手 D 参照)
投手 C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板 した場合は、第4日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目が休みだったので、第5日目80球、第6日目40球の投球は可能。
投手 D	40	45	休	30	60	休	第1日目、第2日目で80球を超えたため、第3日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目、第5日目で連続する2日間で80球を超えているため、第6日目の3日間 連続登板および捕手として出場できない。
投手 E	40	40 40	休	80	0 40	休	第1日目、第2日目で40球以内の3連投をしているため、第3日目は投手・捕手と して出場できない。第4日目は80球のため第5日目は投球した時点から1試合目に 登板してなくても連続する2日間で80球を超えているため、第6日目は投手・捕手 として出場できない。
投手 F	30 50	休 * 捕 手 可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投 できないが、* 連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は、第5日目 は投手・捕手として出場できない。

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

4. 小学生（ジュニアの部）

1) ジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大60球とし連続する2日間で100球以内とする
連続する2日間で60球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を30球以内とし、
4連投（連続する4日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
ダブルヘッダーの投球を禁止する
- ③ 大会中は1日60球以内とし、翌日投球を休めば3日目は60球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
- ⑤ 小学部においては投手から捕手の制限は設けない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日50球以内、翌日は投球してはならない

「小学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第一 日 目	第二 日 目	第三 日 目	第四 日 目	第五 日 目	第六 日 目	備 考
投手 A	60	0	60	0	60	0	60球投げた翌日には登板していないため、翌々日には60球投球できる。 (打者終了時に60球を超えても、1試合分の最大カウント数は60球)
投手 B	60	40	休	60	0	60	第1日目60球、第2日目40球で連続する2日間で100球となったため、 第3日目は登板できない。
投手 C	30	30	30	休	60	40	30球以内に連続する2日間で60球以内であれば3日間連続登板可能。 ただし、球数に関わらず3日間連続登板した場合は、第4日目は登板できない。 第4日目が休みだったため、第5日目60球、第6日目40球の投球可能。
投手 D	30	35	休	20	40	休	第1日目、第2日目で60球を超えたため、第3日目は登板できない。 第4日目、第5日目は60球以内だが、第5日目で30球を超えているため、第6日目の 3日間連続登板はできない。
投手 E	60 休	40	休	休 40	60	休	小学生の部は、ダブルヘッダーの場合、どちらかの試合しか登板できない。 登板した翌日は100球まで投球可能。翌々日は登板できない。
投手 F	60	40 休	休	30	30 休	30	第1日目60球、第2日目1試合目は40球までで、第2日目2試合目と第3日目は 登板できない。 第4日目と第5日目1試合目の各試合で30球以内であれば、第5日目2試合目は 登板できないが、第6日目は30球までは投球できる。

※数字は投球数。「休」は投手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

5. 愛知県中央支部の取り組み事項

【運営方法】

- ・投球カウンターを使用
- ・審判は基本的にカウントしない
- ・本部席にて役員が両投手の投球数をカウント
- ・インニング終了後に球数を確認、場内アナウンス
- ・投手が80球に達した時に場内アナウンス

	1	2	3	4	5
Aボーイズ	⑫	⑨			
Bボーイズ	⑩	⑦			

例) Aボーイズ〇〇投手、2回の表の投球数は9球、トータル21球です。(2回表終了後にアナウンス)
Bボーイズ〇〇投手、2回の裏の投球数は7球、トータル17球です。(2回裏終了後にアナウンス)
Aボーイズ〇〇投手、投球数が80球になりました。

なりたい自分へ、 はじめての一步!

新年度スクール生募集!



■アドバイザー
元中日ドラゴンズ川又米利



■アドバイザー
元中日ドラゴンズ友永翔太

体験会受付中。

プロの技術が学べる、個別指導の野球上達塾! ワンランク上の指導を一度体験ください。



夢を叶える、野球上達塾!

BSO 野球塾

検索

■アドバイザー
元中日ドラゴンズ彦野利勝

■お問い合わせ・体験申込 はコチラまで

☎ 052-715-3555

電話受付 平日
10:00~17:00

BSO 野球上達塾事務局

〒465-0041 名古屋市名東区朝日が丘1番地1 勝野ビル3F

✉ info@bsobb.net

詳しくはweb サイトをご覧ください。

URL bsobb.net/school/





REACH BEYOND

支え合った時間、 出会えた感謝。

新しいことが始まるとき
何かに行き詰まったとき
ふと思い出す日々がある。
それは、大切な人たちとの時間。
グラウンドで共に汗を流した仲間、
厳しくも優しく、背中を押してくれた監督、
静かに見守り、支え続けてくれた家族、
たくさんの人たちとの日々だった。
抱いた感情もよみがえる。
チームを勝利に導けた喜びや
結果を出せずに涙したことが今でも胸を熱くする。
そして思う。
野球に、ソフトボールに、出会えてよかったと。
もがきながらも、走り抜いたあの日々が
自分を築きあげてくれたということ。
これから行く道は長い。
だから何度だって立ち止まっていい。
振り返っては前へ、一歩ずつ進んでいけばいい。



BASEBALL
DREAM
特設サイト

mizuno.jp 0120-320-799

©吉野秀宏 / PIXTA